



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ 上場取引所 東
 コード番号 9791 U R L <https://www.bikentecho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行 T E L 06-6380-2141
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 26,747	% 5.0	百万円 1,517	% 51.1	百万円 1,631	% 39.7	百万円 1,096	% 40.5
2025年3月期第3四半期	25,480	△0.2	1,003	△24.2	1,168	△19.0	780	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,019百万円 (24.1%) 2025年3月期第3四半期 821百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 145.40	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	103.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 40,750	百万円 22,428	% 55.0
2025年3月期	40,351	21,650	53.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,428百万円 2025年3月期 21,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 28.00
2026年3月期	—	18.00	—		
2026年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 36,000	% 3.8	百万円 1,500	% 5.3	百万円 1,600	% 3.4	百万円 1,100	% 12.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	7,718,722株	2025年3月期	7,718,722株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	174,966株	2025年3月期	174,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	7,543,756株	2025年3月期3Q	7,543,756株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く経営環境は、活発な企業活動や首都圏・関西圏での大型開発事業の進展等により経済活動の活性化等が進んでおりますが、人件費等の上昇、有資格者を含む人材確保問題の顕著化、物価の急速な高騰による原材料費の負担増等が重畠的に影響を及ぼし、先行きの不透明感や不安定要素も増加しています。

このような状況下ではありますが、当社グループにおいては、本業のビルメンテナンス事業において大型再開発案件を含む新たな商業施設や物流施設等のメンテナンス業務の受注増加、大阪・関西万博を契機とした業務拡大、経済活性化に伴う工事受注増等により業績の進展が見られ、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,747百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益は1,631百万円（前年同期比39.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,096百万円（前年同期比40.5%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、上記で説明させていただいた要因等により、前年同期と比較して売上高が増加し、人件費高騰等の影響はありましたが、セグメント利益も増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,883百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は2,842百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第3四半期連結累計期間においては不動産売却の成立はありませんでしたが、取得物件の賃料見直し、入居者増加等による賃貸収入等の増加により、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は598百万円（前年同期比19.3%増）、セグメント利益は224百万円（前年同期比45.5%増）となりました。

③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていること等から稼働率回復に時間を要しており、また介護人材確保のための費用も増加したことにより、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は645百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント損失は114百万円（前年同期は74百万円のセグメント損失）となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスターードーナツ、銀座に志かわ等の店舗展開を行っておりましたが、各店舗の収支状況等を勘案しスクラップ＆ビルドを進めております。具体的には、銀座に志かわ堺東店を2024年10月に、やきとり家すみれ五反田店を2025年2月に、やきとり家すみれ福島店を2025年10月に、それぞれ閉店いたしました。やきとり家すみれ五反田店の跡には、自社ブランドとして新店舗の串揚げや みつ八を2025年3月より営業しております。そのような店舗減少や閉店費用負担の影響もあって、前年同期と比較して売上高が若干の減少、セグメント損失計上となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は659百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期は5百万円のセグメント利益）となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しております。アフターコロナが浸透して人々の移動やインバウンド需要が活性化してきたこともあり、稼働率・ADRがアップし、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は727百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は246百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、関連商品販売事業等がありました。2025年8月末をもってフードコート運営事業から撤退いたしました。撤退前のフードコート事業の不振により、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失計上となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は233百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ399百万円増加し、40,750百万円となりました。これは主に、販売用不動産の取得によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ377百万円減少し、18,322百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ777百万円増加し、22,428百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日公表の「2025年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,557,205	8,938,836
受取手形、売掛金及び契約資産	4,310,003	3,945,236
商品及び製品	18,943	19,047
販売用不動産	5,583,345	6,405,923
未成工事支出金	23,870	53,416
原材料及び貯蔵品	47,707	44,404
その他	1,212,352	846,128
貸倒引当金	△76,274	△62,188
流動資産合計	20,677,154	20,190,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,639,315	4,736,292
土地	10,185,812	10,602,562
その他（純額）	403,926	456,418
有形固定資産合計	15,229,054	15,795,273
無形固定資産		
のれん	520,820	443,395
その他	241,560	238,736
無形固定資産合計	762,380	682,131
投資その他の資産		
その他	3,770,305	4,169,951
貸倒引当金	△87,716	△87,200
投資その他の資産合計	3,682,588	4,082,750
固定資産合計	19,674,024	20,560,155
資産合計	40,351,178	40,750,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,730,399	2,500,940
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,634,771	2,558,569
未払法人税等	191,059	231,899
賞与引当金	432,064	159,099
不正関連損失引当金	7,151	6,620
その他	2,892,514	3,439,826
流動負債合計	10,587,961	10,596,955
固定負債		
長期借入金	6,305,993	5,748,453
役員退職慰労引当金	249,867	252,948
退職給付に係る負債	442,228	444,784
資産除去債務	110,362	166,692
その他	1,004,230	1,112,894
固定負債合計	8,112,681	7,725,772
負債合計	18,700,643	18,322,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	18,193,131	19,048,505
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	21,596,334	22,451,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,502	359,648
為替換算調整勘定	△286,976	△418,777
退職給付に係る調整累計額	42,676	35,654
その他の包括利益累計額合計	54,201	△23,474
非支配株主持分	—	—
純資産合計	21,650,535	22,428,233
負債純資産合計	40,351,178	40,750,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	25,480,839	26,747,877
売上原価	19,985,511	20,659,489
売上総利益	5,495,327	6,088,387
販売費及び一般管理費	4,491,336	4,571,136
営業利益	1,003,991	1,517,251
営業外収益		
受取利息	15,025	12,561
受取配当金	34,800	25,647
受取賃貸料	26,890	30,222
受取補償金	7,000	—
助成金収入	10,111	13,932
持分法による投資利益	12,722	22,148
貸倒引当金戻入額	50,428	7,412
為替差益	56,053	129,693
その他	73,994	53,116
営業外収益合計	287,027	294,734
営業外費用		
支払利息	63,444	99,413
支払手数料	22,649	34,259
貸倒引当金繰入額	363	12,705
その他	36,199	33,630
営業外費用合計	122,656	180,009
経常利益	1,168,361	1,631,976
特別利益		
固定資産売却益	14,992	38,424
投資有価証券売却益	7,218	17,680
子会社株式売却益	5,175	294
リース解約益	44,619	—
その他	—	1,640
特別利益合計	72,006	58,040
特別損失		
固定資産除却損	3,284	8,881
特別損失合計	3,284	8,881
税金等調整前四半期純利益	1,237,083	1,681,135
法人税、住民税及び事業税	300,711	440,667
法人税等調整額	155,927	143,626
法人税等合計	456,638	584,293
四半期純利益	780,445	1,096,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	780,445	1,096,841

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	780,445	1,096,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,792	61,146
為替換算調整勘定	△49,694	△131,800
退職給付に係る調整額	77,577	△7,021
その他の包括利益合計	40,675	△77,675
四半期包括利益	821,120	1,019,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	821,120	1,019,165
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビルメンテ ナンス事業	不動産事業	介護事業	フランチャ イズ事業	ホテル事業	計				
売上高	22,723,956	502,123	677,925	670,979	652,556	25,227,541	253,298	25,480,839	—	25,480,839
セグメント利益 又は損失(△)	2,490,147	154,601	△74,813	5,562	181,751	2,757,250	1,902	2,759,152	△1,755,161	1,003,991

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フードコート運営事業、太陽光発電事業、病院経営コンサルティング事業、環境衛生事業、物販事業及び保育事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,755,161千円は、各報告セグメントに含まれていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない業務推進のための共通費用や総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビルメンテ ナンス事業	不動産事業	介護事業	フランチャ イズ事業	ホテル事業	計				
売上高	23,883,280	598,899	645,562	659,306	727,359	26,514,408	233,468	26,747,877	—	26,747,877
セグメント利益 又は損失(△)	2,842,694	224,962	△114,609	△1,796	246,431	3,197,681	△9,409	3,188,272	△1,671,021	1,517,251

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フードコート運営事業、太陽光発電事業、病院経営コンサルティング事業、環境衛生事業、物販事業及び保育事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,671,021千円は、各報告セグメントに含まれていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない業務推進のための共通費用や総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	302,308千円	331,187千円
のれんの償却額	77,425	77,425